

## 1. 市教委実施の R6 までの研修内容

【令和 5 年度】

| 日時   | 研修名・項目                                  | 内容                                                                          | 対象者                      | 人数 | 場所              |
|------|-----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------|----|-----------------|
| 4/27 | 第 1 回<br>運動部活動指導員<br>研修会                | ・部活動指導員の服務、勤務について<br>・中学校運動部活動について<br>・危機管理について                             | 管理職<br>部活動指導員<br>担当者     | 24 | 教育<br>センタ<br>ー  |
| 8/3  | 熊本市小学校<br>部活動指導者研修会                     | ・スポーツ指導における指導者の責任<br>講師：清水法律事務所弁護士 溝内氏<br>・運動遊びの実践について<br>講師：スポーツ能力発見協会 那須氏 | 小学校部活動<br>指導者(教員)        | 92 | オンラ<br>イン       |
| 8/3  | 熊本市中学校・高校<br>部活動指導者研修会                  | ・部活動のあり方と部活動指導につ<br>いて<br>講師：熊本大学准教授 末永氏                                    | 中学校・高校<br>部活動指導者<br>(教員) | 44 | オンラ<br>イン       |
| 9/8  | 部活動外部指導者<br>研修会及び<br>第 2 回部活動指導員<br>研修会 | ・部活動の現状と部活動指針<br>・部活動のあり方と部活動指導につ<br>いて<br>講師：熊本大学准教授 末永氏                   | 外部指導者<br>部活動指導員          | 47 | 市民会<br>館ホー<br>ル |

【令和 6 年度】

| 日時  | 研修名・項目                                  | 内容                                                                                 | 対象者                      | 人数 | 場所             |
|-----|-----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|----|----------------|
| 5/8 | 第 1 回運動部活動<br>指導員研修会                    | ・部活動指導員の服務、勤務について<br>・中学校運動部活動について<br>・危機管理について                                    | 管理職<br>部活動指導員<br>担当者     | 33 | 教育<br>センタ<br>ー |
| 8/1 | 熊本市小学校<br>部活動指導者研修会                     | ・ACP を活用した小学校運動部活動に<br>ついて<br>講師：東京学芸大学教授 佐藤氏                                      | 小学校部活動<br>指導者(教員)        | 92 | オンラ<br>イン      |
| 8/3 | 熊本市中学校・高校<br>部活動指導者研修                   | ・ベストパフォーマンスに向けたコ<br>ンディショニングの考え方<br>講師：桜十字熊本宇城病院リハビリテ<br>ーション科長 村上氏                | 中学校・高校<br>部活動指導者<br>(教員) | 44 | オンラ<br>イン      |
| 9/6 | 部活動外部指導者<br>研修会及び<br>第 2 回部活動指導員<br>研修会 | ・中学校部活動について<br>・ベストパフォーマンスに向けたコ<br>ンディショニングの考え方<br>講師：桜十字熊本宇城病院リハビリテ<br>ーション科長 村上氏 | 外部指導者<br>部活動指導員          | 47 | 中央公<br>民館      |

## 2. 文化系部活動の研修体制

【吹奏楽】 実施主体：熊本市吹奏楽研究会

| 開催月   | 研修名     | 内容           | 対象者              | 場所       |
|-------|---------|--------------|------------------|----------|
| R6.5  | 指導者研修会  | 基礎合奏の在り方     | 指導者              | 玉名女子高等学校 |
| R6.11 | リーダー研修会 | パートごとの運営の在り方 | 指導者<br>各部の部長、副部長 | 玉名女子高等学校 |

※合唱、美術は研修会等の実施なし

## 3. 政令指定都市の研修実績について

| 都市名  | 研修回数        | 研修内容                                                                                                                                                                                                                      | 実施形態   |
|------|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 横浜市  | 4回          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の考え方（部活動の地域移行）について</li> <li>・中学校で指導を行うにあたっての留意点</li> <li>・ケーススタディ（クレーム対応など）について</li> <li>・スキルアップ研修「コーチング」、「安全管理」（・サービス関係については、会計年度任用職員共通のイントラネットでの動画研修を閲覧してもらう）</li> </ul>       | 参集     |
| 札幌市  | 1回<br>(2コマ) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス及び危機管理について</li> <li>・地域のスポーツ団体関係者の講話「トレーナーの重要性」</li> </ul>                                                                                                                    | オンデマンド |
| 福岡市  | 3回          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動改革における市の取組（考え方）</li> <li>・体罰等のコンプライアンス研修及び応急手当等の危機管理研修</li> <li>・部活動指導を円滑に推進するための留意点（生徒や保護者と関わる際のポイント）</li> </ul>                                                              | オンデマンド |
| 北九州市 | 2回          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス及び部活動ガイドラインについて</li> <li>・「指導に関する困り感等について（R6）」</li> </ul>                                                                                                                     | 参集     |
| 浜松市  | 2回          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツハラスメント（コンプライアンス）研修</li> <li>・指導者の心構え（スポーツ庁の動画参照）</li> </ul>                                                                                                                   | 参集     |
| 岡山市  | 3回          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の心得（部活動の意義、学習指導要領、こどもとのかかわり方・ハラスメント防止、守秘義務の扱い等）<br/>【講師：教育委員会・市民生活局担当職員】</li> <li>・熱中症を含む応急手当の実際<br/>【講師：日本赤十字社岡山支部】</li> <li>・コーチング（コミュニケーションの取り方など）<br/>【講師：大学教授】</li> </ul> | 参集     |

#### 4. 本市が考える研修内容及び項目について

スポーツ庁が示す「部活動指導員に対する研修内容（例）」を参考に、本市でさらに必要と考える項目を追加した。（★が追加項目）

##### （ア）学校部活動の教育的意義について

1. 学校教育 及び 学習指導要領
2. 部活動の意義及び位置付け
3. 指導者の役割と心構え・・・★
4. 学校と地域の連携・・・★

##### （イ）服務関係について

5. 部活動指導者の概要（身分、職務、職責等）・・・★
6. 勤務内容と条件（勤務形態、報酬・費用弁償、災害補償等）
7. 服務（校長または教育委員会の監督を受けること、生徒の人格を傷つける言動や体罰が禁止されていること、保護者等の信頼を損なうような行為の禁止等）
8. 事務手続き・・・★

##### （ウ）指導の在り方について

9. 生徒の発達段階に応じた科学的な指導
10. 顧問や部活動を担当する教諭等との情報共有
11. トレーニング理論（リーダーシップトレーニング、IT・デジタル技術の活用等）・・・★
12. コーチング理論（生徒の実態に応じた効果的、計画的指導）・・・★
13. マネジメント理論（各部の活動の目標や方針（各部の練習時間や休養日の徹底も含む）の設定、主体的な態度を育む目標の設定、評価やフィードバック）・・・★

##### （エ）危機管理関連について

14. 安全・障害予防に関する知識・技能の指導
15. パワハラ、セクハラ等ハラスメント防止研修・・・★
16. コンプライアンスの徹底、体罰及び不適切行為の根絶・・・★
17. 学校外での活動（大会・練習試合等）の引率
18. 生徒指導に係る対応
19. 事故が発生した場合の現場対応

##### （オ）その他の必要事項について

20. 女子生徒や障害のある生徒などへの配慮
21. 保護者等への対応
22. 事例別等研修（競技、種目別の抱える課題や生徒指導事例におけるアンガーマネジメント、OJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）の実施等）・・・★
23. 部活動の管理運営（会計管理等）

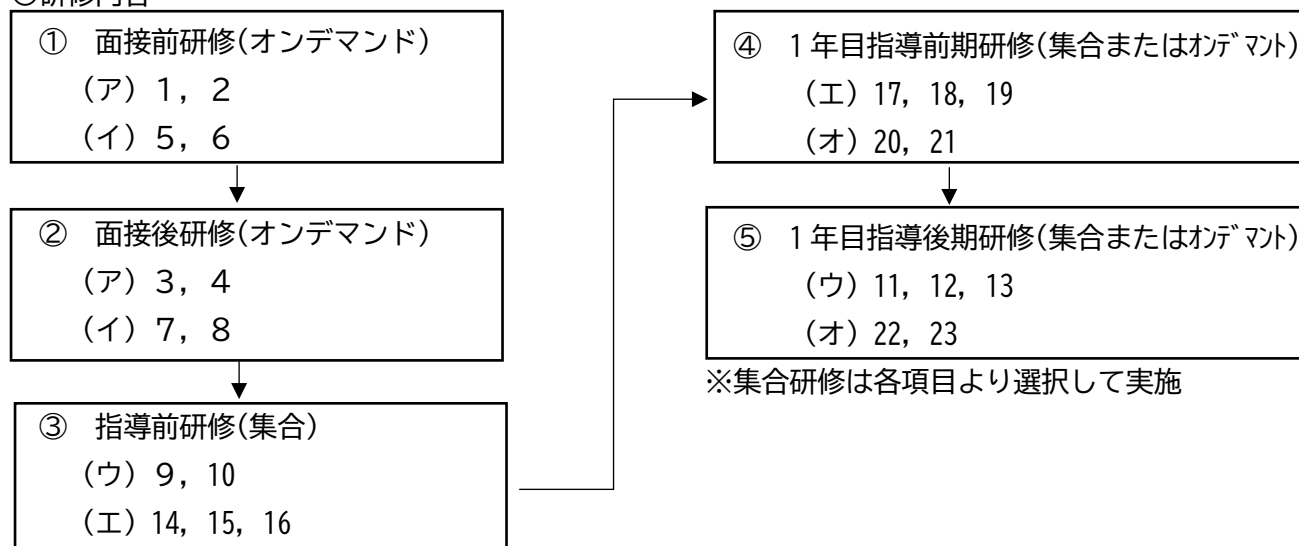
（参照資料）スポーツ庁：運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン（H30.3）P28 より

## 5. 研修時期及び主な内容

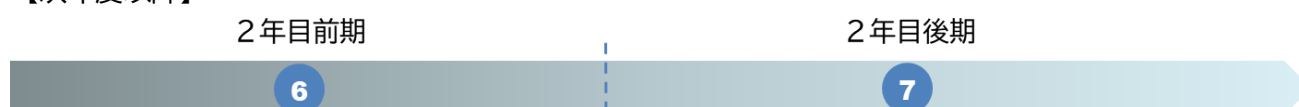
### 【初年度】



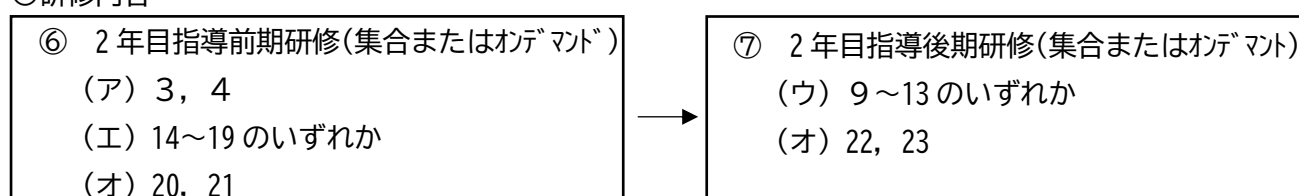
### ○研修内容



### 【次年度以降】



### ○研修内容



※ 2年目以降は、必要に応じた研修を選択して申し込むなど、経験年数等に応じた研修を検討する

## 6. 研修の実施形態

### 【オンデマンド】

- ・ 各種動画研修を行い、視聴後にテスト機能（アンケート付き）を用いて理解度を確認する。
- ・ 定期的に更新を行い、指導者の受講履歴等を確認できるように設定する。

### 【集合研修】

- ・ 各回、必須項目1つ、選択項目1つを設定し、指導者が自身の関連の深い内容を選ぶ形式とする。
- ・ 研修規模にもよるが、100~200人の先着順で実施する。
- ・ 選択研修の内容については、アーカイブ動画を作成し、後から閲覧できるようにする。

## 学校部活動指導者研修構築プロジェクトチーム（案）

### 1. 目的

指導者の専門知識と指導力を向上させ、生徒の成長と部活動の質を高めることを目的とする。具体的には、学校部活動の教育的意義を理解することはもちろんのこと、最新の指導法やトレーニング技術を習得し、指導者間の情報共有と連携を強化することを目指す。

### 2. プロジェクトチームメンバー（10名程度）

- ・学識経験者（大学教授等、危機管理、コーチング理論等の専門知識を有する方）
- ・市立中学校及び高等学校 学校長

※ 運動分野、文化分野に分かれて検討する内容があり、それを踏まえた人選を行う

【オブザーバー】株式会社MYプロデュース・一般財団法人熊本市文化スポーツ財団  
【事務局】熊本市教育委員会事務局 教育改革推進課

### 3. スケジュール

令和7年度

6月 全体会

7月 運動部活動分科会・文化部活動分科会

8月 運動部活動分科会・文化部活動分科会

全体会（分科会報告及び令和8年当初予算関係）

令和8年度 学校部活動指導者研修開始